

2016年度(平成28年度)活動のご報告

セブン-イレブン記念財団は、セブン-イレブン店頭に寄せられたお客様の募金と(株)セブン-イレブン・ジャパンなどの寄付金をもとに、環境市民活動支援事業、自然環境保護・保全事業、広報事業、災害復興支援事業に取り組みました。

環境市民活動支援事業では、環境市民団体の活動を支援する「環境市民活動助成」で304団体に1億8245万4549円、「東京の緑を守ろうプロジェクト助成」で37団体に635万1552円を支援しました。環境活動のリーダーを育成する「第19回環境NPOリーダー海外研修」では、6名を選抜しドイツ研修に派遣しました。

自然環境保護・保全事業では、全国17地域の「セブンの森」で、加盟店や本部社員1,571名が森林の保護・保全活動を行いました。自然学校では、「九重ふるさと自然学校」が行政や大学と連携した活動の幅を広げ、2015年に東京都八王子市に開校した「高尾の森自然学校」は、体験プログラムの充実を図ると共に森林やフィールドの整備を行いました。また、海的环境保護・保全活動では、「東京湾UMIプロジェクト」のアマモの再生活動による海の森づくりに取り組みました。

広報事業では、環境活動を推進する事を目的として、生物多様性の保全や持続可能な利用につなげる活動を表彰する「生物多様性アクション大賞2016」、地球温暖化防止に取り組む地域活動を表彰する「低炭素杯2017」を共催し、「第12回 森のようちえん全国交流フォーラムin北海道」と「平成28年度 学校の森・子どもサミット夏大会」に特別協賛しました。

災害復興支援事業では、東日本大震災復興支援の「東北に緑を！セブン-イレブンプロジェクト」で、岩手県、宮城県、福島県の被災した小学校450校に花苗などをお届けしました。セブン-イレブン加盟店と本部社員が取り組んでいる「東日本大震災復興プロジェクト」では、5月に宮城県で「東松島セブンの森」を、10月に福島県で初めての活動となる「相馬セブンの森」の海岸防災林再生活動を開始しました。また、引き続き宮城県気仙沼市唐桑での牡蠣養殖作業と、大崎市の「宮城セブンの森」で植樹や森林整備を行いました。

セブン-イレブン記念財団は、これからも環境をテーマに社会貢献活動に取り組んでいきます。

皆様の更なるご支援・ご協力をお願い申し上げます。